

授業科目

言語学

担当教員名 阿部 聡	対象学年	1	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎		

授業の概要

入門用テキストとハンドアウトを用いて、言語学の基本的な考え方について概観し、言語学の主な領域を説明する。現代言語学の大きな流れ・分野を概観したのち、言語の単位、構造や意味・機能について考え、最終的には現代言語学の考え方に基づいて日本語という言語を（より）客観的に分析できるようになることを目標とする。言語の構造に関しては、音声、音韻、語の構造（形態）、文の構造などを扱う。また、言語聴覚士国家試験ではこれらに対応した日本語学・日本語文法の知識・考え方を問う問題が出題されているため、日本語学・日本語文法の内容についても説明する。言語の意味・機能については、意味論・語用論・機能言語学の観点から説明する。社会言語学についても触れる。

授業の目的

言語聴覚士にとって必要となる言語学の知識と言語の捉え方を身につけることを目的とする。言語（もしくは個別言語としての日本語）を客観的に捉えられるようになることを目指す。

学習目標

1. 言語学の基本的な考え方を身につける。
2. 言語学の基本概念・単位・分野についての知識を得る。
3. 主体的に言語の構造を分析できるようになる。
4. 言語の機能や言語と社会・文化との関わりについて学ぶ。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	言語とは何か（素朴な言語観、言語学の各分野の「言語のとらえ方」）	講義 討議 質問用紙	阿部 聡
2	言語の恣意性と分節性（言語の記号としての特徴）	講義 質問用紙	阿部 聡
3	言語能力と言語運用、言語の構造と言語の機能	講義 質問用紙	阿部 聡
4	現代言語学の主要な分野（音韻論・形態論・統語論・意味論・語用論）	講義 質問用紙	阿部 聡
5	音韻論、日本語の音声・音韻	講義 質問用紙	阿部 聡
6	形態論、日本語の語形成	講義 質問用紙	阿部 聡
7	統語論（1）句の構造・文の構造	講義 質問用紙	阿部 聡
8	統語論（2）日本語の文構造	講義 質問用紙	阿部 聡
9	日本語の文法的特徴	講義 質問用紙	阿部 聡
10	言語類型論	講義 質問用紙	阿部 聡
11	意味論：語の意味・文の意味	講義 質問用紙	阿部 聡
12	語用論（1）発話行為・含意（グライス）・関連性理論	講義 質問用紙	阿部 聡
13	語用論（2）ポライトネス、ダイクシス／言語の機能：機能主義的言語分析	講義 質問用紙	阿部 聡
14	機能言語学 / 言語と社会：社会言語学	講義 質問用紙	阿部 聡
15	まとめ		阿部 聡

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	言語学入門	斉藤純男	三省堂	2010年	2,100円＋税	
	明解言語学辞典	斎藤純男、田口善久、西村義樹	三省堂	2015年	2,200円＋税	
参考書	探検! ことばの世界	大津由紀雄	ひつじ書房	2004年	1,600円＋税	
	ベーシック現代の日本語学	日野 資成	ひつじ書房	2009年	1,700円＋税	

	やさしい日本語のしくみ	庵功雄 他	くろしお出版	2003年	1,000円+税	
その他の資料						

評価方法

授業への貢献と取り組み・質問用紙（webアンケートを用いる場合もある）・提出物 40% 期末テスト 60%

履修上の留意点

テキストは入手後すぐに通読してください。

なお、Section 04 変化は授業では扱わない予定ですので読まなくても結構です。

授業各回のテーマに関するページは2度3度と読み込んでから授業に来てください。

言語学では他の言語との比較によって当該言語の特徴を浮かび上がらせることがよくあります。そのため、テキスト・ハンドアウトには英語の例も採用されています。

「英語が苦手だ」という学生がいるのは承知していますが、高校までで用いていた総合英語、英文法の参考書を活用する、または英語の担当の教員や私に積極的に質問してみてください。

授業計画とテキストの章立ては一致していない部分があるので注意してください。また、国家試験の傾向などに合わせて授業計画を変更することがあります。

授業は講義形式ですが、質問用紙などを通じて積極的に授業に参加してほしいと思います。

国試問題だけを眺めると暗記科目のように見えるでしょうが、言語学は見た目以上に「考える科目」と言えますので、自ら進んで考える習慣をつけることを強く勧めます。

また、受講生同士で言語学の問題について議論することもその一助となるでしょう。

オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、satabe@nuis.ac.jpへご連絡ください。